

## 議 事 録

- 1 名 称 令和4年度 第2回 石岡市景観調査委員会
- 2 開催日時 令和5年1月23日（月） 午前10時から午後12時30分まで
- 3 開催場所 石岡消防署 3階会議室
- 4 出席した者の氏名  
藤川委員、村上委員、井川委員、久保田委員、日下委員、  
中村委員、武居委員、原田委員  
（事務局：櫻井都市建設部長、瀬尾都市建設部参事兼都市計画課長、  
若山課長補佐、青柳係長、伊藤主任、富田主幹）
- 5 議 題 ・住民参加型まちづくりファンド支援事業の認定審査について  
・その他
- 6 議事の概要 議事録のとおり
- 7 担当課の名称 都市建設部都市計画課

### 8 議事録

#### (1) 開会

- ・会長挨拶
- ・出席者が規定の定足数に達していることを報告（委員9名中8名出席）

#### (2) 議事

##### ■会長

それでは、議事に入ります前に、本日の会議の議事録署名人を指名させていただきます。A委員にお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、本日の議事に入ります。議事の一つ目は、「石岡市住民参加型まちづくりファンド支援事業の認定審査について」となります。今回、2件の申請が挙がっていますので、申請者様から順番に事業の内容を御説明いただきたいと思います。

はじめに、冷水酒造(株)の事業内容について御説明いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

## ■冷水酒造(株)

それでは始めさせていただきます。私は香丸通りにある冷水酒造(株)の冷水でございます。こちらの店舗では、お酒を売っています。元々は日本酒を造っていた酒蔵になります。これからその場所で新しい事業を始めようと考えています。

まず、事業概要になります。新たにクラフトビールの醸造所を造る計画になります。日本酒から今流行っているクラフトビール事業に転換していくことを考えています。

また、現在使われていなかった蔵を新しく活用して、今回の事業を実施したいと思っています。蔵は1階と2階で構成されています。1階はクラフトビールの醸造所になります。こちらのフロアでは醸造所を見ながら、ビールを飲めるような空間を作ろうと思っています。2階につきましては、1階で購入した商品をそのまま持ち込んでビールを飲むことができます。地域の食材を使った料理も提供したいと考えています。そのような事業計画を考えています。こちらのコミュニティースペースでは、色んな皆様に活用していただける空間にしたいと思っています。これから石岡市の商店街通りや香丸通りを盛り上げていきたいと思っています。今回、そのような考えから事業を計画しました。簡単な事業内容は以上となります。改修工事等の内容につきましては、梶浦より説明いたします。

## ■梶浦設計事務所

梶浦設計事務所の梶浦と申します。まず、説明の前に補足資料をお配りしました。皆さんのお手元に1枚の絵図がございます。こちらの絵図は、冷水酒造の建物の中を整理している時に出てきました。今回、対象となる建物は一番左側になります。屋根は切妻で奥行き長い建物になります。それ以外に確認できる建物もありますが、現在はほとんど解体されてしまいました。

続きまして、位置図になります。石岡駅から国道355号線沿いにお店はあります。石岡市中心市街地活性化基本計画の中の中心市街地地区に立地しています。そして、私も昨年石岡のお祭りをこちらの場所で見学しました。山車がこちらの辻の交差点で止まりまして、国道355号から東側へ向かいます。そのため、こちらの場所は非常に重要な場所であると思いました。絵図をご覧ください。切妻の妻面の手前側が交差点になります。現在は広場のような形となっています。こちらの空間に色々な屋台が出ており、皆さんがくつろいでいました。敷地内ではありますが、非常にパブリックな空間でした。このような素晴らしい場所で、先ほど冷水さんがお話されていたことを始めていきたいと思っています。

続いて、事業を実施する建物は、延べ床面積が50坪ある蔵になります。1階が25坪、2階が25坪と同じ面積になります。1階の25坪にはクラフトビール醸造所の機能が入ります。そのフロアからガラスを隔てて、ビール造りの様子が見えるようにして、ブリューパブを併設します。クラフトビールの造られている様子を見ながらビールが飲

める空間を作ります。おつまみも一緒に提供したいと考えています。おつまみにつきましては、茨城県の農産物を使うことを考えています。可能な限り豊かな石岡産の食材も使いつつ、工夫を凝らした料理を提供したいと思います。今、お酒と料理のマリアージュということを考えて、観光面に関しても意味のある事業にしたいと思っています。2階部分は面積の半分をコミュニティースペースにしたいと考えています。地域の方々にスペースを開放して、会議等に利用してもらいたいと思っています。こちらは冷水さんの意向から計画しました。残り半分のスペースはスタッフルームやトイレを計画しています。景観まちづくりとして、このように意味のある事業にして、改修をしていきます。蔵は昔の形を残しつつ、和のテイストを守っていきたいと考えています。冷水酒造は江戸時代から酒蔵をしています。今回、業態は違いますがクラフトビール事業へ変換してもその部分は変わらずに継承していきます。このような文化も継承していきます。それも含めて既存の形を尊重しつつ、リノベーションをしていきたいと思っています。

先ほど1階部分でビールを少し飲める場所があるというお話をしました。こちらにカウンターがあります。奥の方からガラス越しにビールの醸造タンクが並んでいます。ここからビールを造っている様子が見えます。酒造りを行う方々は神様を非常に大事にします。こちらの奥には社がありますので、開口部の搬入口にある窓から見えるようにしたいと思っています。

今回、修景する建物はこちらになります。汚れてしまった漆喰部分や後付けで設置した庇がこちらの部分になります。今回の計画に伴いまして、駐車場の導線を変更します。現在の出入口部分はお客様が通行するため非常に危険な箇所になります。新たな車の出入口に関する導線を考えました。新たな出入口を想定している箇所には門があります。こちらの門は鉄扉のため撤去する必要があります。そして、フェンスには単管パイプ、足場、波板が置かれている様子を御確認できます。こちらをお客さんが車で駐車場に入るため、合わせて景観に配慮した塀へ修景したいと思っています。

建物の外装はイメージパースをご覧ください。既存の漆喰部分を補修します。屋根についても補修を考えています。一部後付けの煙突を撤去して瓦を置きたいと思っています。さらに、後付けの庇が少し劣化しているため撤去します。この妻面の道路側の箇所につきましては、一部板張りにしようと思っています。絵図をご覧ください。1階部分の全面には、木が張られていたことが確認できます。耐久性の観点から全面には張らず南東側のみ張りたいと思います。一部小窓が開くような仕様を考えています。夏は広場側でお客様がビールを飲み、イベントの開催も想定されます。季節限定で木板の開口部は少し開きます。そちらでもサービスを提供できるようにします。景観の修景上閉じることができると問題ないと考えています。

続いて設備になりまして、今回の計画では建物の活用も行います。現在、こちらの建物は使われていない状況になります。今回の事業計画に伴い多くの人々が建物を利用

します。ビール醸造所に関する設備等も設置するため様々な改修を実施しますが、今回は空調についてのみ申請させていただきました。

空調設備は壁掛け式、外部には室外機等を設置します。ビールの醸造に必要な設備機械も含めて設置します。外部の室外機につきましては、そのまま露出する状況になりますので、景観面を考慮して囲いたいと思います。こちらの部分は空調機能をマルチにして個数を減らします。コンパクトに収めつつ木の塀で隠すことを考えています。

続いて、駐車場のアプローチ方法になります。現在、T字路の交差点付近が車の出入口になっています。今回の計画に伴いまして、車や人の往来が増加することが想定されます。現在の車の導線は交差点から5m以内のため非常に危険であると思っています。駐車スペースは現在販売しているお店の奥側に設けます。このような導線計画によって、お客様の安全面に配慮した計画となります。こちらの門は鉄扉の部分のため、撤去します。塀も焼杉板張りで新設します。景観に配慮した門、塀の修景を実施したいと思っています。

続いて、屋外広告物の看板になります。既存の野立広告が設置されています。高さは10m以下になります。既存の建物は8mで、それよりも低い高さになります。既存の骨組みは残しつつ看板を活用したいと思っています。こちらの広告物は車が行き交う道路で目立ちます。皆さんから認知されていると聞いています。タクシーの運転手さんは、冷水酒造の看板を曲がってくださいと利用者からよく言われると話していました。非常に大事なランドマークであると思っています。デザインにつきましては、刷新したいと思っています。素材につきましては、この柱部分を残しつつ看板部分は撤去します。景観に配慮したデザインにして、色味も統一します。建物に調和した新しい看板を設置したいと思っています。照明につきましては、既存の看板と同様に内照式を考えています。

続いて、補助金額の説明になります。歴史的建造物として建物の外壁、屋根の工事等含めて6,948,314円で、補助申請額は上限額の5,000,000円になります。設備は空調のみ抜粋しまして、3,794,970円で補助申請額は上限額の1,000,000円になります。門、塀は2つの見積書を合わせまして合計2,726,020円で、補助申請額は上限額の1,000,000円になります。広告物は1,075,800円で補助申請額は上限額の500,000円になります。合計金額14,545,104円で、補助申請額は7,500,000円になります。以上が今回の計画の概要等の説明になります。よろしくお願いたします。

## ■会長

ありがとうございました。それでは、委員の皆様から、御質問等あればよろしくお願いたします。

■ B委員

既に日本酒は造っていると思います。店舗を残したままブリュワールも営業するということでしょうか。

■ 冷水酒造(株)

はい、そのとおりでございます。やらせていただきます。

■ 会長

店舗に来るお客さんの車はどこに止めてもらう予定ですか。

■ 梶浦設計事務所

店舗も一元化しようと思っております。こちらが改築予定の蔵になります。国道355号沿いにある建物が店舗になりまして、現在お酒を販売しています。蔵の前にスペースがありますので、その部分を駐車場にする計画で考えています。

■ 会長

はい。ありがとうございます。

■ 梶浦設計事務所

スライドで配置図を用意しておらず申し訳ございませんでした。詳しい内容は資料3の配置図をご覧ください。先ほどお話をさせていただきました交差点がこの位置になります。計画建物は平面図に記載されている図になります。国道355号沿いの交差点から車の入口が非常に近い状況でございます。出入口と記載されている箇所が現在利用している車の出入口になります。今後、こちらの出入口は緊急車両のみにしたいと考えています。北側部分には、車両専用口と記載がございます。こちらから入りまして西側に進むと駐車場があります。

■ C委員

配置図の四角で囲っている場所は何でしょうか。

■ 梶浦設計事務所

車両専用口の下が隣地境界線になっています。配置図の車両専用口と記載されている箇所が鉄扉の門になります。

■ C委員

こちらはどのような用途で使われていますか。

■梶浦設計事務所

母屋の北側にある四角い図の部分は隣地になります。恐らく塗装屋さんの資材置き場になっていると思います。

■冷水酒造(株)

補足として、トラックが止まっている敷地は別の方のものになります。

■C委員

門をきれいに修景してもその左側には、トタン板等がそのまま残るということでしょうか。

■冷水酒造(株)

はい。そこに関しましては我々で手を加えることはできません。

■C委員

分かりました。続けて、配置図にカーポートと記載されています。こちらは残しますか。

■梶浦設計事務所

将来的には撤去したいですが、今は残ります。まずは今回の事業を成功させたいと思います。

■C委員

細かくてすみません。現在、こちらの母屋にお住まいですか。

■冷水酒造(株)

はい。今住んでいる母屋になります。店舗併用住宅になります。

■C委員

ありがとうございます。例えば、景観に配慮するため母屋のパラボラアンテナを移設することは考えていますか。さらに、販売所の前にある自動販売機を景観面からコントロールするような可能性はありますか。

■冷水酒造(株)

自動販売機は撤去になると思います。当初は色を塗る計画にして残す予定でしたが、需要を考えて撤去する運びとなります。母屋につきましては、御指摘いただくまで考

えていませんでした。今後違う箇所に移設することは可能であると思います。

■ C委員

ありがとうございます。補助金として、公的なお金を入れるのであればそれが最大限いきるように御配慮いただけると良いと思います。やっぱり景観計画上はそういう方が良いと思いますので、御協力いただく必要があると思います。外観だけではなくて、ソフトウェアのお話から考えますと、何らかの公的資金を入れた時にはそれを市民の方が享受できるような仕組みがあると良いと思います。先ほどお祭りの時は敷地を公開していると伺いましたが、何か取決めはありますか。

■ 冷水酒造(株)

屋台をやりたい希望者がいればお貸ししています。自社で屋台を運営することもありました。一昨年は市に貸出しをしておりまして、具体的な取決めはありません。今回の事業が完成した際には、ブリュワリーとして皆様が利用できるスペースになると思います。

■ C委員

ありがとうございます。市民に向けた公開の件につきましても検討いただけて、問題がないということですね。

■ 冷水酒造(株)

はい。

■ 会長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

■ D委員

観光果樹組合関係者の中村と申します。今回の事業は素晴らしいと思います。食事も提供できればなお良いと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

■ 冷水酒造(株)

ありがとうございます。今回、こちらの細長い蔵を改修していきます。ほかにも蔵や離れ住宅があります。将来的にはそちらも改修をしたいと思っています。そちらで、食事の提供等ができれば良いなと思っています。まずは、今回の計画を頑張っていきたいと思っています。

■会長

ありがとうございます。E委員何かあればお願いします。

■E委員

先ほどお話がありました配置図にスライドがあれば分かりやすいと思いました。2階のコミュニティスペースは良いと思いますが、バリアフリーの問題はどうお考えですか、

■梶浦設計事務所

ありがとうございます。配置図の件は、スライドに移せず申し訳ございませんでした。バリアフリーに関しては、現在急な階段のため蹴上げ等を行います。今もよりも皆さんが上りやすくなるように改修します。エレベーターは費用面から断念しました。理想であればそれが良いと思います。

■会長

ありがとうございます。A委員何かあればお願いします。

■A委員

景観が向上することが良いと思います。隣地部分について、どうにかならないかなと思いましたが。全体的にきれいにする方が望ましいと思いましたが。

■梶浦設計事務所

そうですね。隣地に関してはそれが理想であると思いますが、お隣さんと協議して塀を建てるまでが精一杯と聞いています。将来的にはあるかもしれません。

■会長

はい。ありがとうございます。私から2点御質問させてください。

まずは、妻壁についての質問になります。窓の下から木板を張るということですが、一般的にささら子下見の木板になると思います。図面を見るとそのような仕様とは異なるような気がします。どのような想定で考えていますか。

■梶浦設計事務所

シンプルに立板でフラットに張っていきます。木目部分は焼杉のような表情を出して、蔵でよく使われている仕様になりたいと思っています。会長がおっしゃったような張り方とは少し異なるようなイメージですがいかがでしょうか。

■会長

こちらは意見になってしまうかもしれません。一般的には着脱可能とはいえ、ずっと張りっぱなしの状態になりますので、もう少し伝統的な建物の張り方にしていた方が良いでしょう。

■梶浦設計事務所

なるほど。分かりました。こちらの画像を見ると黒いL字型の金物が6か所あります。当時はここにも板壁が張られていたと思います。今回は、着脱ではなく完全に張り付けます。黒い折れ釘を残しながら何か表現できれば良いと思っています。

■会長

ありがとうございます。2点目は内部に関する内容となりますので、直接補助金と関連しない部分かもしれません。一番西側の部屋は元々事務室として利用されていました。今でも内装がきれいに残されています。平面図を見るとそちらの場所は、今後部屋としてあまり使われない予定であると思います。元々の材料は撤去してしまうということでしょうか。

■梶浦設計事務所

可能な限り壁と床は残していく方針で考えています。

■会長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

—特になし—

そうしましたら、続いて木崎邸の案件につきまして御説明お願いいたします。

■常陸風土記の丘

一般財団法人石岡市産業文化事業団の常陸風土記の丘の所長を務めている酒井と申します。よろしくお願いたします。

早速、石岡市八郷地区に位置する木崎邸の茅葺き屋根の修繕事業内容につきまして、御説明させていただきます。

まずは、所有者が木崎様でございます。所在地は石岡市上青柳になります。位置図をご覧ください。この辺りが茨城県フラワーパークになりまして、こちらがフルーツライン沿線になります。そして、朝日トンネルでございます。フラワーパークから南西方向に進むと上青柳地区がございます。建物は茅葺き屋根になります。明治2年の

建物とされています。構造は木造の平家建てでございます。延べ床面積は約185㎡になります。さらに、令和3年度に景観重要建造物の指定を受けています。

続いて、具体的な事業内容になります。こちらが修繕箇所の配置図になります。申し訳ございませんが、書類のスペースの関係上方位が異なった表記になります。青色の部分は北側で面積が1間と6間になります。緑色の部分が東側で3.5間になります。こちらの2か所に関する修繕を御審議いただきたいと思っております。

こちらは東側の現況写真になります。こちらの建物の特徴を最初にお伝えしたいと思っております。一番下の広角な写真をご覧ください。普通の茅葺き屋根と比べてシルエットが異なっています。具体的に申しますと屋根勾配が非常に緩い建物でございます。通常であれば、ぐし口から角度的にこの辺りに軒が来ます。それに準ずる勾配で屋根が形成されます。建物に対して屋根の間口がもっと狭くなるのが普通の茅葺き屋根の構造になります。こちらの建物はご覧のとおり勾配がとても緩やかでございます。こちらが建物の隅になりまして、軒先から屋根が広がっています。軒がかなり先まで出ています。私たち茅葺き屋根を触る者からすると、急な屋根勾配の方が寿命は伸びます。これが常識になります。屋根の寿命を伸ばすためには、屋根に残る水分を早く抜くことが肝になります。水分を取り除くためには、急な勾配は都合が良い状態でございます。こちらの建物は屋根勾配が緩いため水分が抜けていく時間が長く掛かります。茅のメンテナンスを行うためには、不利な仕様となります。ただ、こちらの軒先部分が沢山出ている仕様は、当時の威風を感じます。建物として立派なシルエットになります。当時建てた時には、かなり手間を掛けた豪華な建物であると推測できます。メンテナンス頻度は多いですが、そのような性格を持っている建物でございます。

今回、既に雨漏りをしている東側部分の修理を行います。現在、シートを敷いて雨除けをしています。間口は3.5間の範囲で修理を実施します。こちらは北側の妻側でございます。屋根勾配が緩いため非常に水分が抜けにくい状況でございます。北側部分は傷みがとても激しい状態のためとても深刻なダメージでございます。ほかの茅葺き屋根についても北側は特に傷みややすい部分になります。写真のように苔が繁茂することはよく見られる現象です。現在、木も生えています。深刻なダメージを受けていますので、こちらは下地再生も含めて実施したいと思っております。下地の竹の部分も含めた形で修理します。

続いて、修理費用になります。東側部分の見積で特筆すべき点は山茅が0円ということになります。理由につきましては、こちらの建物の所有者と今日出席しているボランティアの若手のメンバーが一緒になって、材料を自前で収穫しました。今年の冬も収穫作業を実施しました。自前で収穫した茅を東側の部分に投入するため見積額から除外しています。ほかの部分は、茅葺き屋根の修繕に使う通常材料が載っています。合計50万円になります。今回の案件はそういう背景がありまして、ボランティアの方と家主が協力することで、費用を下げています。実験的な要素も含めた案件にな

ります。

続きまして、こちらが北側部分の費用になります。ダメージが深刻な箇所になります。下地再生と茅葺き屋根の補修になります。こちらは私たち風土記の丘で所有している茅を投入する計画になります。こちらは下地再生も含まれますので、工期は時間が掛かります。金額は2,150,000円になります。先ほどの北側部分の費用も含めまして、合計額は2,915,000円になります。補助申請額は9/10、補助上度額の2,500,000円で申請しました。よろしくお願いいたします。

#### ■会長

はい。どうもありがとうございます。それでは皆様から何か御質問等お願いします。

#### ■F委員

生活している人が増えれば屋根の寿命を延ばせると思います。煙で燻す環境が一番良いと思います。補助金を交付するのであれば、周りに公開することも必要かと思えます。そういうことも含めて今後の活用にいければと思います。

#### ■風土記の丘

はい。委員御指摘のとおり早く屋根の水分を抜くことが重要でございます。それは茅の寿命を延ばすことに直結します。屋内で熱が出ていると建物の寿命が延びます。こちらは周知のとおりでございます。私たちの知見から申しますと煙よりは熱の方が重要であると思えます。熱による乾燥効果の方が屋根の寿命を延ばすことにつながります。こちらは重要であると思っています。当然空き家よりは生活をしている人がいると茅の寿命が延びます。彼女たちは石岡市の地域おこし協力隊のOB・OGでございます。そのような若手が建物の管理等に関与しています。今後、利用頻度を上げるために、どのような方法が良いのか考えています。茅葺き民家を未来へ残すために何ができるのかを考えています。若手のそのような労働力が投入されることは良いことであると思えます。建物の寿命を延ばすことにマイナスにはならないと思えます。これから修理して終わりではありません。今後、どのように活用するのかを引き続き検討する必要があります。これらは現在の課題であります。このような若手と一緒に進めていくことは素晴らしいと思えます。

#### ■F委員

茅を葺いた場所は新しい色になりますので、目立ちますね。

#### ■風土記の丘

当然そちらの部分は、新しい色になります。葺いた色と既存の色は異なりますが、

半年から1年程度経過することにより、色見は馴染みます。新しい材料につきましては、年間20mm程度縮んでいきます。表面の変色は、早い段階で起こると思います。確かに直した箇所がはっきり分かることは事実でございますが、時間の経過で馴染むと思います。

■ F 委員

新しく葺いた場所の寿命はどれぐらいですか。

■ 風土記の丘

正確なことは言えません。東側は、朝日が当たりますので保存状況は良い状態になると思います。メンテナンスは必要になりますので、差し茅を施すことにより寿命は延びると思います。5年や10年ごとに大規模な修理は必要ないと思います。

■ A 委員

さげ葺きとはどのような手法ですか。

■ 風土記の丘

はい。一段は4層構造になっています。4層の中から使える茅を並び替えます。並べ直すことで2層にしかならないため、足りない部分へ新しい茅を足します。これがさげ葺きの手法になります。屋根に残っている元々の茅を余すことなく使いますので、歴史が継承されます。

■ 会長

ほかにいかがでしょうか。

■ E 委員

山茅と島茅の違いを教えてください。

■ 風土記の丘

山茅は山間部で取れるすすきが中心になります。島茅は水辺で取れる葦等が中心になります。今回、山茅は自前で調達しています。詳細な場所はこちらより御説明いたします。

■ 元地域おこし協力隊

木崎邸の茅場、高エネルギー加速器研究機構、近隣の茅葺き屋根を辞めたお宅等か

ら4年間で茅を集めました。以前、木崎邸の茅場は10年前までお住まいだったお祖母ちゃんが、手で刈っていた場所になります。茅場としては8年程度使っていませんでしたが、改めて茅場を復活させました。手入れをして茅場を再生したことで島茅を刈ることができました。近隣の茅葺き屋根を辞めてしまったお宅の人から茅を買いました。そういう人たちは茅の価値を分かっています。使ってくれるのであればということで提供してくれました。そのようにして茅を集めました。

■会長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

■C委員

木崎邸は遠くから見ることができますか。

■風土記の丘

上青柳集落は幹線道路から中に入った位置にあります。幹線道路から茅葺き民家を眺望することはできません。

■C委員

道路から視認することはできますか。

■風土記の丘

前面道路から見ることはできます。そこまで入ってきていただければ十分望めるロケーションになります。また、こちらの建物の裏にも道路が一本走っていますので見ることはできます。敷地に入らなくても道路から見ることはできます。余談ですが、八郷の茅葺き民家は観光面の整備はされていません。それは住んでいる家屋ばかりだからです。

■C委員

ありがとうございます。観光資源として整備されてこなかったということですね。しかし、補助金を活用する場合には、観光客向け等に見せる必要性はあると思います。道路からは見えるということですが、敷地まで入って見せていただくことは可能でしょうか。

■元地域おこし協力隊

家主は家を公開する姿勢があります。元々私たちも数十年前にアートサイト八郷を開催するため、大学生の頃にこちらの建物をお借りさせていただきました。そのよう

な経緯もございます。我々が活動していく中で、都心の中で生活している方が興味を持ち訪問した人も多くいます。その時、私たちも案内をしました。家主は訪れた人に宿泊も勧めます。建築学生向けの学びの場として、場所を提供してくれた経緯もあります。今後も開催したいと思います。

#### ■ C委員

ありがとうございます。とても良いお話であったと思います。是非それはお願いしたいと思います。実際に建築学科の学生向けに見学会をしてもらうことは可能でしょうか。これから検討の余地はあると思いますが、いかがでしょうか。

#### ■ 元地域おこし協力隊

周りの住宅の迷惑にならない範囲で、実施は可能だと思います。最初は誰でもとはいかない面もありますが、人づての紹介等であれば実現性が高いと思います。

#### ■ C委員

ありがとうございます。これからの進め方によると思いますが、地元の小学生には見学会の実施を予定しています。補助金としてサポートする以上御協力いただければと思います。また、工事期間は夏までと記載されています。高校生等に向けて実施していただくことも良いのかなと思います。地元の資源を見る機会を作るという意味でも有意義であると思います。学生が大学のAO入試のために話を作ってくる一面があります。そんなことよりも、地元の歴史的資源を知って見る方が良い経験になると思います。よろしくお願ひします。

#### ■ 会長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

#### ■ D委員

こちらの地域は昔NHKの大河ドラマの舞台にもなりました。八郷時代になりますが、私も出演しました。上青柳地域は素晴らしい場所であり取り壊されてしまった貴重な茅葺き民家もありましたので、これからも残してほしいと思います。以前はアートサイト八郷という事業もあり盛り上がりました。これからも八郷を盛り上げていってほしいと思います。

#### ■ 元地域おこし協力隊

ありがとうございます。

■ G委員

確かアートサイト八郷は武蔵野美術大学の方が主体となり活動していたと思います。

■ 元地域おこし協力隊

確かに武蔵野美術大学の方が主体で活動していました。我々は携わったメンバーになりまして、全員が母校になります。

■ G委員

そうでしたか。今後、アートサイト八郷を実施する計画はありますか。

■ 元地域おこし協力隊

そうですね。現在は少し形を変えて活動しています。アートサイト八郷は展示をして、来場者が見て回るというイベントでした。こちらのイベント以降、我々はもっと直接的な関わりを持ちたいと思うようになりました。こちらの民家や家主と一緒にあって主体的に関わりたいという気持ちが強くなりました。具体的には、お庭の手入れや茅刈り作業等になります。徐々に自分の手や体を使って、何かしら関わりたいという声が挙がりました。周りの人も含めて多くの声が聞こえてきましたので、形を変えました。今は月に1、2回程度活動日を設けています。都心や関西からいらっしゃる方もいます。茅葺き民家以外にも納屋のスペースをイベント会場にしたこともあります。敷地全体を使ってイベントを実施しています。敷地の整備活動も含めた形で小規模ではありますが、日常的にイベントを続けています。

■ G委員

これからも盛り上げて行ってほしいと思います。ありがとうございます。

■ 会長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

■ 元地域おこし協力隊

すいません。先ほど道路から見えるのかという質問がありまして、補足させていただきます。フラワーパークの山の展望台から双眼鏡を覗くと八郷地域を見渡すことができます。そこから木崎邸を眺望することができます。参考までにお伝えします。

■ 会長

そうですか、ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。  
—特になし—

それでは申請者の皆様方には御退出いただいて、審査を始めたいと思います。

—申請者等退出—

ここから審議を始めたいと思います。

#### 【冷水酒造(株)審査結果】

##### ①歴史的建造物（店舗）の修景 補助認定額5,000,000円

- ・補助対象経費として全て認める。
- ・東側の焼杉木貼は当時の仕様を踏襲して、下見板張りにする。将来的に南側の壁にも木貼ができる計画にする。
- ・東側の新たな開口部は基本的に閉める仕様にする。
- ・南東角の植栽部分の計画は歴史的景観に合うよう計画の変更を検討する。

##### ②設備の設置、改修等 補助認定額0円

- ・設備費は、本事業の相当性に欠けるため認定しない。ただし、バリアフリーの視点から1階へトイレを設置する計画に変更した場合、補助対象経費として認める。

##### ③門、塀の修景 補助認定額61,952円

- ・門は撤去費に限り認めるが、塀は道路からの視認性が低いため認定しない。

##### ④広告物の修景 補助認定額500,000円

- ・補助対象経費として全て認める。
- ・デザインが決まり次第、資料を提出する。

#### 【木崎邸審査結果】

事業内容のとおり認定する。

#### ■会長

続いて、その他として事務局から報告をお願いします。

#### ■事務局

はい。前回11月9日に開催しました景観調査委員会でファンド事業の認定を受けました辻いちご園の販売小屋建替え事業について、御報告いたします。

前回の委員会の後に事業を進めてまいりましたが、12月9日付で申請者から事業の

取下げの申出がありましたので、事業を中止する運びとなりました。

中止理由につきましては、いちごのシーズンと建替え時期が重複してしまうことで、来客者の安全面に不安が残るためやむを得なく中止することとなりました。所有者は、いちごのシーズンが終了する5月以降に改めて事業を実施したい意向がございます。市としても改めて事業を決定して支援したいと思っておりますので、委員の皆様におかれましても御理解をよろしくお願いいたします。

■会長

少し補足説明します。補助条件として屋根の色を合わせてくださいとお話しました。しかし、その色がありませんでした。私と中村さん含めて、12月上旬に色のサンプルを見ながら最終打合せを行いました。そのような経緯はありましたので、お伝えします。結果、申請者から取下げとなりましたが、来年度申請を出し直すということによってよろしいでしょうか。

■事務局

はい。ただし、内容的にはほとんど変わらないと思います。

■会長

はい。分かりました。何か御意見等ございますか。

—特になし—

皆様御協力をありがとうございました。

進行を事務局に戻したいと思います。

■事務局

会長ありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度第2回石岡市景観調査委員会を閉会させていただきます。委員の皆様、本日はありがとうございました。